

発言者	発言要旨
井上委員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今後、国際展開を他の地域に広げていく予定はあるのか。</li> <li>2 埼玉県ASEANビジネスコーディネーターとの連携はどのようにしていくのか。</li> <li>3 東京都では、子会社を設立して取り組んでいるが、県企業局では、長期化や事業化断念のリスクにどのように備えているのか。</li> <li>4 企業にメリットがある形での支援の取組を教えてほしい。</li> </ol>
総務課長	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 まずは、現在の取組をしっかりと実施して、成果を得ることが必要である。その後に他の地域への展開も検討していきたい。</li> <li>2 情報共有を図るなど、緊密な関係を維持しながら取り組んでいきたい。</li> <li>3 子会社が経営破綻すると、その損害が企業局の負担となる。そのため、子会社を作ることには慎重に対応していく必要があると考えている。まずは、リスクの少ない取組を検討していきたい。具体的にはコンサルタント業務などの受託を考えている。これらの積み重ねにより、評価を行うことで、子会社の設置など、更なる展開の検討が可能になると考える。</li> <li>4 企業局のノウハウや支援対象国との信頼関係を生かして、県内企業にメリットがあるように取り組んでいきたい。</li> </ol>
井上委員	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 良好な関係を維持していくには、対応する人員を替えると支障があるのではないかと。人員配置を考える必要があると思うがどうか。</li> </ol>
総務課長	<ol style="list-style-type: none"> <li>3 何よりも相手国との信頼関係が大事であると考えている。人事異動で一から始めるような組織では支障がある。企業局では今年11月にタイ地方水道公社の総裁を招くなど、組織として、信頼関係の構築に努めているところである。北九州市も相手国と10年以上の歳月をかけて信頼関係を構築した後に、相手国とのコンサルタント契約を実現した。企業局も相手国との信頼関係を積み重ねていきたい。</li> </ol>

発 言 者	発 言 要 旨
井 上 委 員	<p>女性の再就職支援の中で、介護人材、看護人材の確保・再就職支援とあるが、実際の求職者のニーズに合っているかが課題である。女性キャリアセンターの利用者ニーズは、事務職や専門職、販売職の割合が高いと聞いているが、県の取組は福祉・医療分野に偏っているのではないか。</p>
ウーマノミクス 課 長	<p>女性キャリアセンターの求職者の希望職種は、事務職が56%、専門職が15%、販売職が12%の順に多い。女性キャリアセンターでの、企業と求職者の交流会の中では、福祉関係企業からもお話をいただき、今まで知らなかった福祉の分野にも目が向けられたという声がアンケートの中であった。事務の求人が少ない状況の中で、福祉・医療の分野にも目を向けてもらえるよう支援していく。</p>
井 上 委 員	<p>ウーマノミクスは、介護分野に女性を就職させることではないはずである。求職者の希望職種で事務が最も多いという女性のニーズに目を向けないと、女性の再就職支援は進まないのではないか。</p>
ウーマノミクス 課 長	<p>看護や介護の分野は今後求人が伸びていくと見込まれるので、特出ししているが、他の分野についても、女性キャリアセンターにおいてカウンセリングを行いながら、ニーズに応じてきめ細かく支援している。今後も引き続き希望を聞きながら、再就職支援を行っていく。</p>
産業人材育成課長	<p>公共職業訓練の代表的なものとして、介護の資格取得を挙げているが、その他に医療事務のニーズが高くなっている。そこで、委託訓練として介護の講座以外にも、医療事務やIT事務などの講座を実施し、女性のニーズに対応した職業訓練を提供している。今後も幅広いメニューを用意し女性の再就職を支援していきたい。</p>